

当社サーバーへの不正アクセスに関するお知らせ（第四報）

当社サーバーへの不正アクセスに関しては、関係者の皆さま、お客さまはじめ関係各位に多大なるご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

2022年7月19日付「当社サーバーへの不正アクセスに関するお知らせ」、同月26日付「同（第二報）」及び8月30日付「同（第三報）」にて逐次状況をお知らせしてまいりましたが、その後の当社の状況と外部の専門調査会社による調査結果につき、以下の通りお知らせいたします。

現時点で、本件にかかわる個人情報やお客さまの機密情報の不正利用等は確認されておられません。また、情報システム及び業務については正常化しており、既報のとおり全体として当社製品の製造に大きな影響は出ておりません。

専門調査会社の調査結果によれば、今回の不正アクセスは、VPN機器の脆弱性を悪用し、攻撃者が不正に窃取した当社システムの一部認証情報を使って当社システムに不正侵入、当社サーバー及びパソコンのファイル暗号化及び一部情報の窃取を行っていたものです。

当社は、不正アクセスの判明直後に社内サーバーをネットワークから遮断、不審ファイル有無を確認、OS及びソフトウェアの最新化、最新ウイルス対策ソフトによるフルスキャン実施、パスワードポリシー強化等の対策を行いました。また、外部接続を監視するSOCサービスならびに機器の不正な挙動等を早期検知するEDRも強化・導入しております。

現在、社内サーバー、ネットワーク、システムは概ね復旧済みで、再度の不正アクセスへの対策は完了しておりますが、今後は更にネットワークアクセスの監視体制や認証方法を強化し、当社グループ全体での再発防止を末端まで徹底してまいります。くわえて、情報セキュリティ管理体制の再整備と組織改編、全役員従業員に対する情報リテラシー教育等を計画的かつ迅速に実施していくことにより、情報セキュリティへの組織全体での意識強化に努めてまいります。

なお、本件によるシステム障害が今年度の当社業績に及ぼす影響については、大きな影響はないものと考えておりますが、本件により、関係者の皆さま、お客さまはじめ関係各位に多大なるご迷惑、ご心配をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

以上

【本件のお問い合わせ先】

株式会社 リケン 経営企画部（03-3230-3911）